

2013年10月29日

株式会社ビジネス・ブレイクスルー

ビジネススキルを数値化する「MBA 診断」集計結果

**「MBA 診断」あなたは何点？年収はビジネススキルに比例する！
1000万円以上の「デキル」ビジネスパーソンはプライベートも充実！？**

**「ビジネススキル診断テスト」年収 1000万円以上 52.7点、400万円未満は 32.2点
「身近に尊敬できる人がいる」人ほど努力している。努力の量も年収に比例！
一日の時間配分、「デキル」ビジネスパーソンの 4割以上は「仕事とプライベート半々」**

株式会社ビジネス・ブレイクスルー(所在地:東京都千代田区、代表取締役:大前研一、以下 BBT)が運営するビジネス・ブレイクスルー大学大学院(学長:大前研一、以下BBT 大学院)は、ビジネスに関する学びや MBA 取得に興味を持つすべてのビジネスパーソンのキャリアプランを考える指針としてもらうため、HP 上にて「ビジネススキル」とキャリア構築に向けての「志向性」を診断できる「MBA 診断 Age of Breakthrough」を 2012 年 9 月より公開しています。おかげさまで 2013 年 10 月までに 6,000 名以上にご利用いただきました。また、約 2,000 名の方にはアンケートにもご協力いただいております。ビジネススキルが高い人の傾向を明らかにするために本結果を集計したところ、ビジネススキルと年収の間には相関関係があることなどがわかりました。

【「MBA診断」とは】 MBA診断はコチラから「MBA診断」で検索 もしくは <http://www.ohmae.ac.jp/mba.jp/>

「ビジネススキル診断」と「志向性タイプ診断」の二つの項目からなり、100 を最大とした数値スコアで判定します。

「ビジネススキル診断」では、経営学の最高峰に位置する学位である「MBA(経営管理修士)」の内容をベースに設問を作成しており、現時点で持っているビジネススキルを点数化します。主に一流ビジネスパーソンの「基礎力とされる項目」と「経営マネジメント」スキルの視点から判定します。

「志向性タイプ診断」では、ビジネスに対する考え方や価値観、方向性など潜在的に持っている内面を診断します。ワークスタイルや価値基準、意欲をかきたてる要素などから、機動力や目指すべき目的地の有無などを判定します。

ビジネススキル診断と志向性タイプ診断の 2 つの結果から導く総合診断結果により、「これから先(5 年後)のビジネスライフはどうなっていくのか？」を占い、完全オリジナルムービーにより未来をシミュレートすることが可能です。

【実施概要】 MBA 診断は 2012 年 9 月 20 日～現在まで公開中です。

・実施期間(今回の集計対象):2012 年 9 月 20 日～2013 年 10 月 17 日までの回答分

・全回答数 6,294。集計時有効回答 2,065(男性 1,611 名 女性 454 名)

*本リリースで使用している数値のうち、小数点以下になるものについては、すべて少数第二位を四捨五入しています。

【トピックス】

◆**ビジネススキルと年収は比例する。「デキル」ビジネスパーソンは努力も惜しまない**

今回のビジネススキル診断のスコアは年収と比例していることがわかりました。年収 1000 万円以上のビジネスパーソンはビジネススキル診断のスコア平均が他に比べて高く、さらに 6 割以上がスキルアップのために 3 個以上の努力をしていると回答しています。

◆**「身近に尊敬できる人がいる」ことが、ビジネスパーソンのモチベーションをあげている**

尊敬している人が社内にいる人ほど、ビジネススキル診断スコアも志向性タイプ診断スコアも高く、努力の量も多いことがわかりました。尊敬できる人の存在がモチベーションをあげ、スキルアップにもつながることが示唆されています。

◆**「デキル」ビジネスパーソンは意外とプライベートも大切にしている！**

年収 1000 万円以上の「デキル」ビジネスパーソンでも半数以上がプライベートにかかる時間は仕事と同量もしくはそれ以上と回答しています。平均睡眠時間は 6 時間弱を確保し、85%は「健康に気を付けている」と答えています。

◆**年収 1000 万以上と 400 万円未満のビジネスパーソンの数字を徹底比較！**

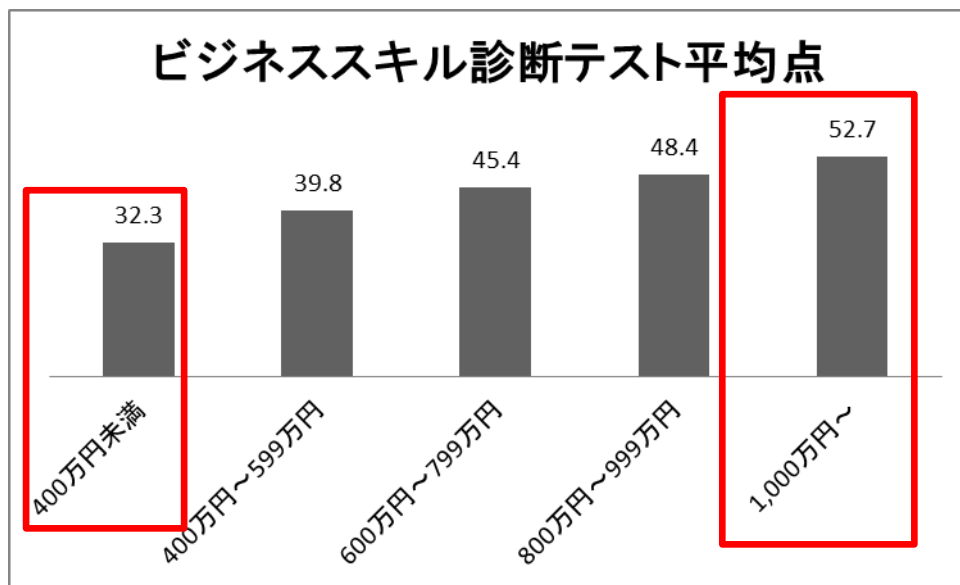
ビジネススキル、志向性のスコアをはじめ、スキルアップのための努力や尊敬できる人の存在では、大きく差がついた一方、帰宅時間や睡眠時間など含め、プライベートに使う時間の量にはそれほど大きな差がありませんでした。

【集計結果】

◆ビジネススキルと年収は比例する。「デキル」ビジネスパーソンは努力も惜しまない

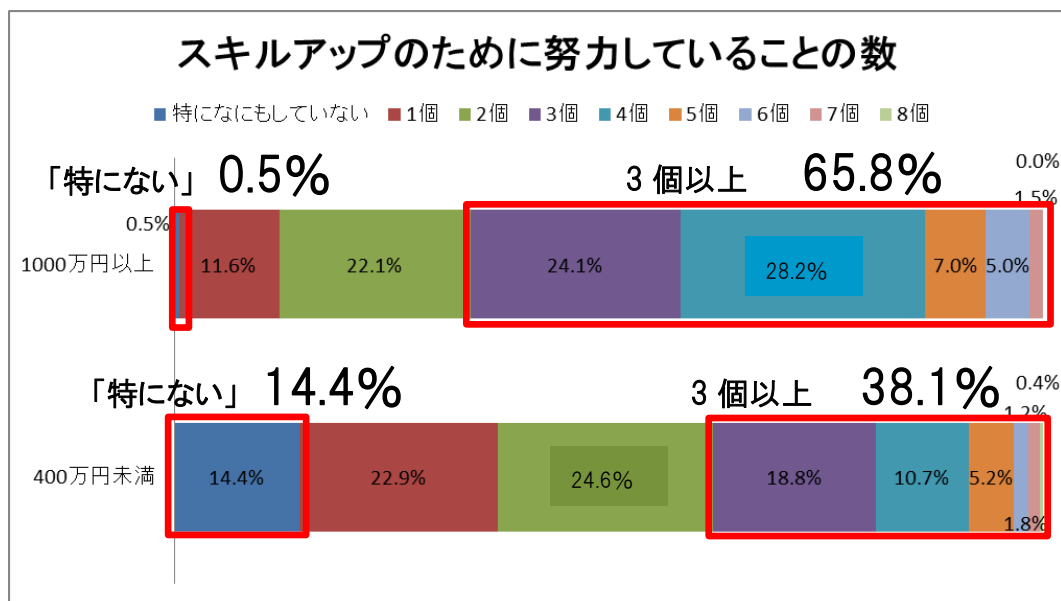
年収が高い人ほどビジネススキル診断のスコアも高くなる傾向にあることが示唆されました。特に年収 1000 万円以上の平均点の 52.7 点に対し、年収 400 万円以下の人の平均点は 32.3 点と、約 20 点も開いています(図 1)。このことより、本調査では年収 1000 万円以上のビジネスパーソンを「デキル」ビジネスパーソンと呼び、日本人の平均給与とされる 400 万円未満の層と比較します。(参考:「平成 24 年分民間給与実態統計調査」国税庁)

図 1 (SA:N=1969)



また、スキルアップのために努力していること(セミナーに出席する、ビジネス書を読む、など)について聞いてみたところ、「特にない」という回答が年収 400 万未満の人の 14.4%を占めたのに対し、1000 万円以上では 0.5%とほとんどいないという事実が明らかになりました(図 2)。3 個以上のものに取り組んでいる人は、1000 万円以上では 7 割近くいるのに対し、400 万円未満では 4 割以下という結果も出ています。このことより、スキルアップのための努力の量と年収は比例していると考えられます。

図 2 (MA:N=762 400 万未満 563 1000 万以上 199) * 1 人当たりの選択肢の数をカウント
設問「スキルアップの為に、いま取り組まれていることは？」



◆「身近に尊敬できる人がいる」ことが、ビジネスパーソンのモチベーションをあげている

スキルアップのための努力を行っている人はどのような人なのか、別の角度からも見るために、ビジネスに対する考え方や価値観などを測る志向性タイプ診断のスコア(機動力の高さを100点満点で数値化)との関係を見てみると、やはり志向性が高いほど、スキルアップのための努力を多く行っていることが明らかとなりました(図3)。志向性のスコアが高い人の特徴をさらに見てみると、スコアが高い人ほど「社内外両方、もしくは社内に尊敬できる人がいる」と「社内」という身近な場所に尊敬できる人がいる人が多いことがわかりました(図4-1、2)。この結果より、身近な尊敬できる人の存在がビジネスパーソンのモチベーション向上に寄与しており、それがスキルアップのための努力などの具体的な行動につながっている可能性が示唆されたと言えます。

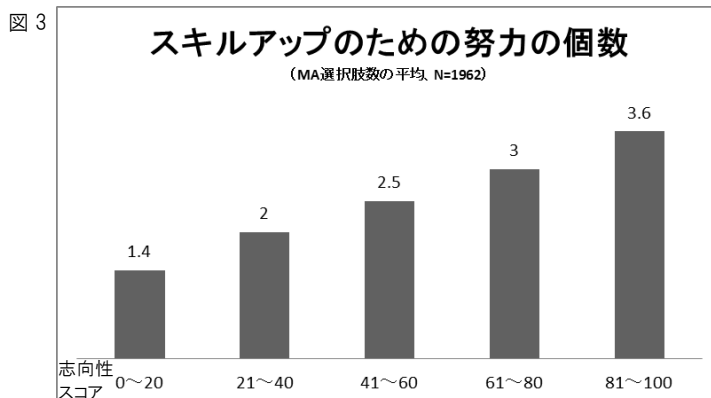
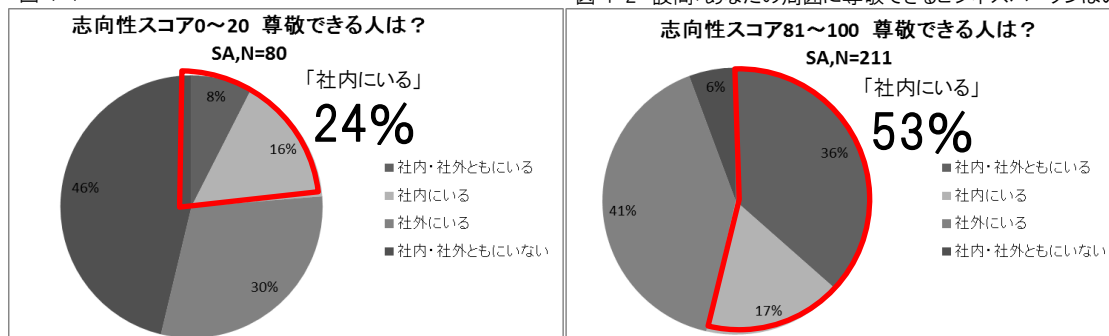


図 4-1

図 4-2 設問「あなたの周囲に尊敬できるビジネスパーソンはいますか」

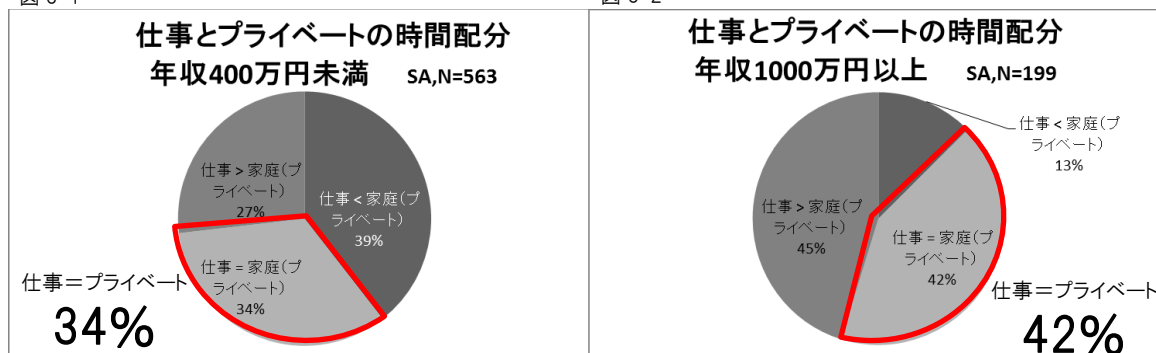


◆「デキル」ビジネスパーソンは意外とプライベートも大切にしている！

仕事とプライベートのバランスに関する質問では、「仕事>プライベート」と回答したのは400万円未満では27%と少数なのに対し、1000万円以上では45%と半数近くにのぼるという予想通りの結果となりました。ところが、「仕事=プライベート」の回答は、1000万円以上でも42%にのぼり、4割以上が仕事以外の時間も大切にしていると言えます(図5-1、2)。また、別の設問では平均帰宅時間や平均睡眠時間も、400万円未満の人たちと約1時間程度しか変わらないことも明らかになっています。ビジネスで成果を出し、スキルアップのための努力をしながらプライベートも大切にしているという、限られた時間を有効に使えるビジネスパーソンが「デキル」ビジネスパーソンであると言えるのではないのでしょうか。

図 5-1

図 5-2



◆年収 1000 万以上と 400 万円未満のビジネスパーソンを徹底比較！

スキルアップのための努力はその量に圧倒的に差がついており、社会人になっても勉強し続けることが大切であることが示唆されているといえます。逆に、帰宅時間や睡眠時間などはそれほど大きな差がつかず、「デキル」ビジネスパーソンはプライベートも大切にしている様子がうかがえます。

年収 400 万円未満 (N=563)	年収 1000 万円以上 (N=199)
◆ビジネススキル診断スコア 平均 32.3 点	◆ビジネススキル診断スコア 平均 52.7 点
◆志向性タイプ診断スコア 平均 52.5 点	◆志向性タイプ診断スコア 平均 63.7 点
◆スキルアップのための努力 平均 2.2 個 ビジネス書・専門書を読む 52% ビジネススクール(MBA 含む)への参加 4% 語学の勉強 31%	◆スキルアップのための努力 平均 3.2 個 ビジネス書・専門書を読む 81% ビジネススクール(MBA 含む)への参加 16% 語学の勉強 55%
◆社内に尊敬する人がいる 35% 尊敬する人がいない(社内外問わず) 24%	◆社内に尊敬する人がいる 49% 尊敬する人がいない(社内外問わず) 12%
◆仕事＝プライベート 34%	◆仕事＝プライベート 42%
◆平均帰宅時間 19 時 42 分 (N=495)	◆平均帰宅時間 20 時 48 分 (N=191)
◆平均睡眠時間 6 時間 18 分	◆平均睡眠時間 5 時間 54 分
◆健康に気を付けている 81%	◆健康に気を付けている 85%

【まとめ】

本集計結果より、ビジネスのスキルと年収の間には相関関係があることが示唆されました。「デキル」ビジネスパーソンの高い年収の裏には、スキルアップのための努力や効率的に時間を使う工夫などが垣間見られます。「デキル」ビジネスパーソンは、モチベーションを高く持ち、日々前向きに努力しているのです。

その努力の原動力の一つとして、「身近な尊敬できる人の存在」が本結果で示唆されました。社内という最も身近な場所に尊敬できる人がいる人ほど、日々精力的に活動している様子がリアルに浮かび上がってきています。

「デキル」ビジネスパーソンは、日々変化するビジネス環境について、常に新しい情報を得ようと努力している様子が本集計結果より読み取れます。社会人になっても勉強し続けることは、「デキル」ビジネスパーソンの必要条件といえます。ビジネス書などから情報を得るだけでなく、積極的にスクールやセミナーなどに参加して、新しい情報に触れ、新しい人脈を作ることもビジネスの幅を広げるためには有効と言えるのではないのでしょうか。

まずは今のご自身のビジネススキルと志向性タイプを診断してみるのもいいかもしれません。是非「MBA 診断」で検索してみてください。(MBA診断 URL http://www.ohmae.ac.jp/mba_lp/)

【BBTについて】

ビジネスパーソンが常に最先端のビジネスの知見を得られる“ビジネスに関する知的プラットフォーム「ビジネスパーソンの知的給油所」”になることを目指し、世界に通用するビジネスパーソンの育成を目的として 1998 年に設立。マネジメント教育事業を主軸とし、世界的経営コンサルタントである大前研一の知識や経験に基づいた最先端のコンテンツを主にオンデマンドで提供。輩出人数はのべ約 5 万人。 <http://www.bbt757.com/>

【BBT 大学院について】

日本初の遠隔教育による経営の専門職大学院として 2005 年 4 月に開学。のべ 614 名の卒業生を輩出。「最先端教育で MBA を、よりスマートに、より実践的に」をスローガンに資本主義経済を勝ち抜く実力を備えたビジネスパーソンの育成を目的としている。過去の事例ではなく現在起こっているビジネス上の出来事をテーマとして学ぶ大前研一考案の教授法「RTOCS(アールトックス:リアル・タイム・オンライン・ケーススタディの頭文字をとったもの)」をはじめ、独自のカリキュラムでキャリア貢献度 NO.1 を目指す MBA 教育を展開。修了率は 9 割近い。 <http://www.ohmae.ac.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR 担当 袴田(はかまだ) TEL:03-5860-5548 FAX: 03-3265-1381